

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣北高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和3年10月27日（水）
- 3 開催場所 会議室
- 4 参加者

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学学長
副会長	兒玉 榮一	大垣北高校同窓会長
委員	安藤 光男	大垣国際交流協会常務理事
	伊藤三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会会長
	種田千佳子	(株)種田石油店代表取締役社長
	田村 弘司	中部学院大学前事務局長兼特任教授
	土川 達也	大垣北高校育友会長
	三浦 陽子	大垣市男女共同参画推進室会長
山田 治美	大垣市立赤坂中学校校長	
学校側	鈴木 彰	校長
	澤藤 哲也	教頭
	蒲 尚胤	教頭
	井上 則昭	事務部長
	内田 康雄	教務主任
	土肥 義史	進路指導主事
	田中 卓哉	生徒指導主事

5 会議の概要（聴取した意見）

- (1) 開会 校長挨拶
- (2) 授業参観
- (3) 学校説明
 - ・学校全般及びスクール・ポリシーの説明
 - ・生徒・保護者アンケートの結果からみた学校課題
 - ・昨年度末の学校関係者評価に対する教務部・進路支援部・生活充実部からの取組報告
 - ・県立学校体育施設の開放について意見聴取

(4) 協議

- 意見1：カリキュラム・ポリシーの「カリキュラム」の編成に、学校側の自由度は低いと考えられる。カリキュラム・ポリシーについての考え方を伺いたい。
⇒ カリキュラム・ポリシーは、生徒をどう育てるかという課題に対して、どこに重点を置いて取り組むかという考え方を示すものと理解している。
- 意見2：スクール・ポリシーに登場する「グローバル」の言葉は、本校の揺るぎない方向性である。授業参観の中でも、ものの見方や考え方がしっかり植え付けられていると感じた。「グローバル」化は、世の中全体の進むべき道であるが、本校が率先して取り組んでいることを確認できた。
- 意見3：かつて海外研修の事前研修でも、本校生徒はリーダーシップを発揮していた。今後も「グローバル」な課題に対する様々な機会を積極的に活用し、さらなる飛躍を期待したい。
- 意見4：1年次の探究活動は「地域」に重点が置かれている。地元の人々は学校とつながりたいと思っている。「地域」をテーマにした活動においては、地域住民にもぜひ声をかけてほしい。
- 意見5：学校がきれいなことに驚いた。このような環境で心豊かに楽しい学校生活を送れることは素晴らしい。一方で、廊下からトイレの中が見えてしまうことが気になった。
- 意見6：ここ2、3年の学校の変化は大きいものがあるが、県内でも先進的に取り組んできたこともあり、ICT機器を用いた授業がスムーズに展開されていた。機器の活用に苦手な生徒へのフォローと学力の高い生徒のやる気をさらに高める工夫をしてほしい。いずれにおいても基礎学力がベースになることを認識されたい。
- 意見7：スクール・ポリシーは、学校に生徒の進路実現を援助する役割だけでなく、社会にも目を向けさせる活動を加えたものであると受けとめている。生徒もこれらの課題に応え、頑張っているのだから、彼らの成長のために育友会としても、できるだけの協力をしていきたい。
- 意見8：探究活動のテーマでもある「地域」に愛着をもってもらいたい。理系クラスに女子が多くいることに驚いた。男女共同参画の観点からも、生徒の多様な希望を尊重して援助してほしい。
- 意見9：学習環境が整っている。またコロナ対策が自然に定着している。生徒と教員の関係のよさを感じた。服装も生徒が自己管理できている。中学生のあこがれの学校であり続けてもらいたい。

(5) 閉会 校長挨拶

(6) 事務連絡

6 会議のまとめ

- ・スクール・ポリシーの内容については、本校が意図した「グローバル」な視点に多くの委員から賛同を得ることができた。今後も校内において議論を深め、次回の協議会に諮りたい。
- ・各委員の所属に則った提言により、多面的な視点から今後の学校運営のヒントを得ることができた。